

DAIDO UNIVERSITY NEWS

DAIDO

CAMPUS

ISSUE

104

2022年
4月発行

特集

入学式・学外展示会 ほか



2022年度入学式を挙りました

4月1日(金)、石井記念体育館で2022年度入学式を挙りました。
当年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場への入場は新入生のみとして実施しました。また、ご家族向けに式典の模様をインターネットにてライブ配信しました。

式では、神保学長が、「大学生活は、高校生までの学生生活と社会に出るまでの間の、人生で最も貴重な時間です。高校生よりも自由がありますが、大人としての責任もあります。しかし、社会に出てからでは体験できない、時間や利益に縛られない、自分の考えで有意義な生活が送れます。近年、コロナウイルス感染症の拡大で、情報化社会の進展が予想を遥かに超えて進みました。この2年で、大学では遠隔授業が、社会ではテレワーク勤務が一気に浸透しました。まさに社会は劇的に変化しようとしています。そのような社会の変革に対応できるように、本学で自分自身を磨いて下さい。いろいろな努力をし、経験したことは社会に出てからの貴重な財産となります。皆さんが大同大学で、貴重な実りある大学生活をおくることを心から願っています。」とエールを送りました。

式後は、在学生による新入生歓迎イベント「WELCOME TO D.U.」が開催され、クラブ紹介やミニゲーム、ビンゴ大会などを行いました。



Welcome to D.U.



寺本頼也さん、萬年穰さん(電気電子工学科)

電気学会東海支部研究フォーラムで研究発表を行いました

2021年12月11日(土)に、電気学会東海支部研究フォーラム「電力システムに対する雷・自然災害と環境問題に関する研究」がオンラインで開催されました。このフォーラムは東海地区の大学生の発表会であり、工学部 電気電子工学科 植田研究室 4年 寺本頼也さん、萬年穰さんが研究成果を発表しました。

寺本さんの発表題目は「FDTD法による鉄塔サージ特性に関する検討(その2)」、萬年さんの発表題目は「再生可能エネルギー大量導入時における電源脱落時の周波数低下に関する基礎的検討」で名工大や中部大など他大学の学生らとともに発表を行いました。

それぞれ慣れないオンライン学会でしたが、練習どおり堂々とした発表で、卒業研究のヒントとなる多くの質問やコメントをいただきました。この学会での発表が、後日行われた卒研発表会の自信になりました。



▲寺本さん(左)と萬年さん(右)

岡本直輝さん(建築学科 建築専攻)

第45回 人間-生活環境系シンポジウムで大会発表賞を受賞しました

2021年12月4日(土)、5日(日)に、第45回 人間-生活環境系シンポジウムが本学で開催され、工学部 建築学科 建築専攻 渡邊研究室 4年 岡本直輝さんが大会発表賞を受賞しました。このシンポジウムは人間-生活環境系学会の年次大会であり、全国から大学教員、大学院生および学部生、さらに企業の研究者が参集しました。今回のシンポジウムは現地における対面発表とオンラインによる発表を組み合わせ実施されました。

岡本さんは「日傘生地の色および加工の違いによる暑熱緩和効果の比較」というテーマで発表を行いました。研究内容と共に、堂々としたプレゼンテーションとしっかりとした質疑応答が高く評価され、大会発表賞に選出されました。この賞は人間-生活環境系学会に属する35歳以下の若手研究者の優れた研究発表に対して贈られるものです。



▲渡邊教授(左)と岡本さん(右)

中井由季さん(建築学科 建築専攻)

第37回『JIA東海支部設計競技』で入賞しました

2021年11月20日(土)に、公益社団法人日本建築家協会東海支部が主催する「第37回JIA東海支部設計競技」の二次審査会が行われ、工学部 建築学科 建築専攻 船橋研究室 4年 中井由季さんが銅賞を受賞しました。中井さんの作品『「間」係性 一間から生まれるつながり』は、当たり前の風景の中にある空間要素に注目し、それらを他者との関係性に置換することで、新たな家族のかたちと住まい方を狙ったものでした。二次審査会当日は、Zoomでのリモート表彰式、ゲスト審査員中川エリカ氏の記念講演会も行われ、大変有意義な審査会となりました。

「JIA東海支部設計競技」は、複雑かつ不安定な社会において住まう空間の多様なあり方と可能性を問うもので、今回で37回目を迎える伝統ある事業の一つです。第37回の課題は『血のつながらない家族の家』であり、家と家族、法律や制度、血縁と他人との関係性や距離などに思いを馳せ、その「血のつながらない家族」のための住宅の在り方が問われました。

2次審査結果発表はこちら

<http://www.jia-tokai.org/competition/topics.htm>

2次審査入賞作品はこちら

<http://www.jia-tokai.org/competition/37.htm>



▲中井さんの入賞作品

加藤大貴さん(建築学科 建築専攻)

照明学会東海支部フォトコンテストで大賞を受賞しました

2021年10月16日(土)に、照明学会東海支部フォトコンテストの表彰式が本学を会場としてオンライン形式で開催され、大学生部門で工学部 建築学科 建築専攻 4年 加藤大貴さんが大賞を受賞し、表彰されました。



▲加藤さんの受賞作品「彩光」

このフォトコンテストは、中部5県下の高校生・大学生を対象に、「明かりと暮らし」をテーマにした写真を募集したものです。高校生部門では大賞1名、準大賞が5名、入選3名が選ばれました。また、大学生部門では、大賞、準大賞、入選にそれぞれ1名ずつが選ばれました。

フォトコンテストの詳細はこちら

<https://www.ieij.or.jp/shibu/tokai/2021photocon.html>



石坂迪大さん、小林真平さん、松井花恋さん、
松井隆成さん、松原史門さん、山本竜之介さん、
濱口優一さん、松井洋樹さん、森川輝一さん(情報デザイン学科)

「FUXION(フュージョン)」の 成果発表を行いました

2021年10月23日(土)に、ナゴヤイノベーションズガレージにて、名古屋市経済局が主催するデザインイノベーションワークショップ「FUXION(フュージョン)」の成果発表が行われました。情報部 情報デザイン学科の学生が、2ヶ月間のワークショップに参加し、県内企業や他大学の学生とともに、5つのテーマに対するアイデア創出・商品デザインに取り組みました。

参加したのは以下の9名です。

3年 石坂迪大さん、小林真平さん、松井花恋さん、
松井隆成さん、松原史門さん、山本竜之介さん

2年 濱口優一さん、松井洋樹さん、森川輝一さん

また、発表会では同学科 舟橋慶祐准教授が評価コメントターの一人として参加しました。

FUXION(フュージョン)のHPはこちら

<https://fuxion758.com/>



上条太一さん、川田脩斗さん、遠山千聖さん、勝航士さん
(情報デザイン学科)

「令和3年度デザインパテ ントコンテスト」で優秀賞を受賞しました!

独立行政法人 工業所有権情報・研修館が主催する「令和3年度デザインパテントコンテスト」で、情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 3年 上条太一さん、川田脩斗さん、遠山千聖さん、同学科 2年 勝航士さんが優秀賞を受賞しました。

今年度は766件の応募があり、見事30件の入賞者に選ばれました。出品したのは佐々木勝史教授が担当する「情報デザイン基礎実習D」で制作したドアノブ作品と、舟橋慶祐准教授が担当する「応用CAD実習A」で制作した木製スプーン作品です。上位6名にのみ与えられる特別賞の一つ選考委員長特別賞を川田脩斗さんの「ティースプーン」が、日本弁理士会会長賞を遠山千聖さんの「卵黄と卵白を分けるスプーン」が受賞しました。情報デザイン学科として6年連続の受賞となり、ドアノブ作品は過去3作品、木製スプーン作品は過去5作品が受賞をしています。

最終選考結果HPはこちら
<https://www.inpit.go.jp/patecon/>



▲上段左から川田さん、遠山さん、
下段左から上条さん、勝さん

近藤真幸さん(情報デザイン学科)

「ゲームクリエイター甲子園2021」 で入賞しました

ゲームクリエイター甲子園2021において、情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻 原田研究室 4年 近藤真幸さんの制作した3Dアクションゲーム「X・Relieve」が「00:00 Studio賞」を受賞しました。

近藤さんは、「大変なこともありましたが、このような賞を

いただけてうれしく思います。いろいろなことにチャレンジさせて貰える、原田研究室の自由な環境が受賞にもつながったと思います。」とコメントしています。また、今回の応募を通して、数社のゲーム制作会社からスカウトがあり、内一社に内定が決まりました。

近藤さんの作品はゲームクリエイター甲子園2021HPよりダウンロードすることができます。

ゲームクリエイター甲子園2021 HPはこちら

<https://game.creators-guild.com/gck2021/#main>

▲近藤さんの受賞作品「X・Relieve」



正木蓮花さん(情報デザイン学科)

女子ハンドボール部のユニフォームを デザインしました



▲新ユニフォームを着た女子ハンドボール部と正木さん(中央)

情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻 横山研究室 4年 正木蓮花さんが本学女子ハンドボール部のユニフォームをデザインしました。このユニフォームは、女子ハンドボール部顧問の齊藤先生から横山研究室に依頼があり、実現しました。

女子ハンドボール部は、2021年11月に開催された全日本学生選手権から正木さんがデザインしたユニフォームを着て参戦しました。

釣部拓人さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

日本機械学会第20回機素潤滑設計部門 講演会で研究発表を行いました

2021年12月6日(月)、7日(火)に、日本機械学会 第20回機素潤滑設計部門講演会がZoomによるオンラインで開催されました。講演会では、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 坪井研究室 1年 釣部拓人さんが研究発表を行いました。

発表した研究テーマは以下のとおりです。

◆釣部 拓人さんの研究テーマ

埋め込み境界法によるテクスチャ表面の非定常流れのシミュレーション
Simulation of unsteady flow on textured surface by immersed boundary method

日本機械学会

第20回機素潤滑設計部門講演会HPはこちら

<https://www.jsme.or.jp/event/21-61/>



小池研志さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

日本流体力学会 第35回数値流体力学シンポジウムで研究発表を行いました

2021年12月14日(火)～16日(木)に、日本流体力学会 第35回数値流体力学シンポジウムがZoomによるオンラインで開催されました。

このシンポジウムでは、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 坪井研究室 1年 小池研志さんがJAXAと共同研究を行っている以下の内容で研究発表を行いました。

◆小池研志さんの研究テーマ

FENSAP-ICEを用いた液滴飛散モデル開発用装置に対する着氷シミュレーション

Benchmark using Ansys FENSAP-ICE towards a new splash model for icing simulation

小池研志(大同大学大学院)、坪井涼(大同大学)、鈴木正也(JAXA)、水野拓哉(JAXA)



日本流体力学会

第35回数値流体力学シンポジウムHPはこちら

<https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd35/>

山本倫也さん(機械工学科)

第7回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)に出場しました

2021年11月3日(水・祝)に、第7回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)東海地区予選大会が開催され、工学部 機械工学科 3年 山本倫也さんが予選を突破し、12月10日(金)～12日(日)に開催された本大会に出場しました。山本さんは、昨年も予選を突破し西日本大学卓球選手権大会(個人の部)に出場しています。

予選大会の試合では、2戦連続で2セット取られてからの劇的な逆転勝利で2年連続の出場権をつかみ取りました。

第7回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)

東海地区予選大会の詳細はこちら

<http://www.tsttf.org/file/2021awsyosen.pdf>

第7回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)

実施要項はこちら

<http://www.tsttf.org/file/2021awsyoko.pdf>

関連記事はこちら

第6回オール西日本大学卓球選手権大会

(個人の部)に出場します/山本倫也さん

https://www.daido-news.jp/daido_news/notice/6.html



高田晃希さん、滝康佑さん、西原大貴さん、船橋幹人さん
(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

鑄造技術対談とポスターセッションを行いました

2021年12月4日(土)に、鑄造技術対談と学生ポスターセッションが開催され、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 前田研究室 1年 高田晃希さん、滝康佑さん、西原大貴さん、船橋幹人さんが参加しました。午前は若手鑄造技術者の方から「鑄造の仕事」について講演を受け、午後からはポスターセッションを行いました。

公益社団法人 日本鑄造工学会 東海支部のHPはこちら

<https://jfs-tokai.jp/>



糸隆千穂さん、丹羽大樹さん、高田晃希さん、滝康佑さん、西原大貴さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

日本鑄造工学会 第178回全国講演大会で研究発表を行いました

2021年11月6日(土)、7日(日)に、日本鑄造工学会が主催する第178回全国講演大会が開催されました。この大会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 前田研究室 2年 糸隆千穂さん、丹羽大樹さん、1年 高田晃希さん、滝康佑さん、西原大貴さんが研究発表を行いました。

発表した研究テーマは下記のとおりです。

◆糸隆千穂さんの研究テーマ

「搦き固め方法が生型砂試験片の特性に及ぼす影響」

◆丹羽大樹さんの研究テーマ

「吸引鑄造の可視化実験装置を用いた空気巻き込み挙動」

◆高田晃希さんの研究テーマ

「ダイカストのラドル注湯及びブランジャ射出時におけるアルミニウム合金溶湯の流動挙動」

◆滝康佑さんの研究テーマ

「アルミニウム合金の重力鑄造において鑄型材質/表面性状が湯流れ挙動に及ぼす影響」

◆西原大貴さんの研究テーマ

「砂型性状に起因する鑄鉄鑄物焼付き欠陥の予測」

日本鑄造工学会のHPはこちら

<https://jfs.or.jp/>



船橋幹人さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

国際シンポジウム「SPCI-12」で研究発表を行いました

2021年11月9日(火)～12日(金)に、室蘭工業大学で国際シンポジウム「SPCI-XII」が開催されました。このシンポジウムで、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 前田研究室 1年 船橋幹人さんが口頭発表を行いました。船橋さんは、「Effect of Squeeze conditions on Compacting Properties of Green Sand Test piece」と題して発表しました。

国際シンポジウム「SPCI-XII」のHPはこちら

<http://shimizu-kazumichi.com/spci-xii/>



中島南さん、中島雄一朗さん(情報システム学科)

第4回東海地区音声関連研究室卒業研究中間発表会にて優秀発表賞を受賞しました

2021年12月11日(土)に、愛知工業大学で開催された、第4回東海地区音声関連研究室卒業論文中間発表会で、情報学部 情報システム学科 柘植研究室 4年 中島南さん、宮島研究室 4年 中島雄一朗さんの2名が優秀発表賞を受賞しました。

中島南さんは「ビデオ通話時における印象に対するカメラ位置・視線・音声の分析」、中島雄一朗さんは「信号の見やすさの定量化手法とその評価」というテーマで発表しました。発表会はオンラインで開催され、音声情報処理やその他の関連研究を行う東海地区の大学の4年生 60名が合同で研究発表を行いました。



▲中島南さん(左)と中島雄一朗さん(右)

塩見健太さん(大学院 情報学専攻 情報学専攻)

防災クイズゲームアプリの提供に対して「感謝状」が授与されました

2021年12月24日(金)に、大学院 情報学研究科 修士課程 情報学専攻 朝倉研究室 1年 塩見健太さんが社会福祉法人名古屋キリスト教社会館より「感謝状」を授与されました。



▲感謝状授与された塩見さん

塩見さんは、11月に開催された同法人主催の地域イベント「MACHIフェス〜であいふれあいそだちあい〜」において、防災クイズゲームアプリを提供しており、今回の感謝状は、その貢献に対して授与されました。塩見さんは「感謝状をいただけてとても光栄です。これからも地域の皆さんをはじめ、様々な方のお力になれるよう、頑張っていきたいと思います。」と語っていました。

新美佑馬さん(情報デザイン学科)

ポスターデザインの提供に対して「感謝状」が授与されました

2021年12月24日(金)に、情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 横山研究室 3年 新美佑馬さんが社会福祉法人名古屋キリスト教社会館より「感謝状」を授与されました。



▲感謝状授与された新美さん

新美さんは11月に開催された同法人主催の地域イベント「MACHIフェス〜であいふれあいそだちあい〜」のポスター作成に協力しており、今回の感謝状は、その貢献に対して授与されました。新美さんは「初めての経験だったのですが、地域の方々に喜んでもらえるものができてよかったです。」と語っていました。



しゃかいかん(第128号)2022年1月はこちら

http://www.ebook.kyodo.ne.jp/shakaikan/newspaper2201/#target/page_no=4

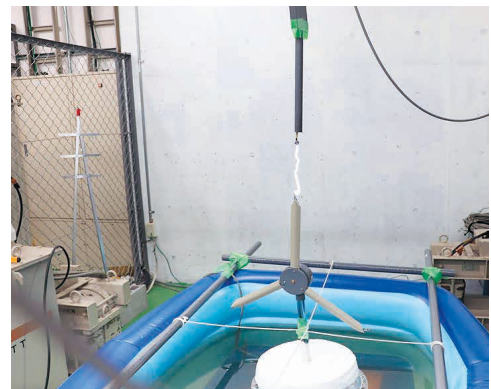
荒瀬甚さん、川口健太さん(電気電子工学科)

電気学会高電圧研究会で発表を行いました

1月20日(木)、21日(金)に、電気学会高電圧研究会がオンラインで開催され、工学部 電気電子工学科 植田研究室 4年 荒瀬甚さん、川口健太さんが研究成果を発表しました。

荒瀬さんは落雷位置標定システムの一つであるBlitzortungを用いて、福井県のあわら北湯風力発電所への冬季雷の落雷位置標定の精度について検討した結果を発表しました。冬の日本海は季節風が強く洋上風車に適した場所ですが、冬季雷というエネルギーの大きな雷からの保護が問題となっています。川口さんは再生可能エネルギーとして最近特に注目されている洋上風車の、羽根(ブレード)への雷撃特性をミニチュアモデルを用いて実験し、海水の塩分の影響についての検討結果を発表しました。

これらの研究結果は、今後の洋上風車開発を推進する上で貴重なデータとして注目され、全国の風車事業者や研究者から質問が相次ぎました。これらの経験は後日電気電子工学科で行われた卒業研究発表会の自信になったことはもちろん、卒業後の就職先で課題解決を図る際の取り組み姿勢に役立つことを期待したいと思います。



▲ミニチュア洋上風車モデルへの雷撃実験の様子

建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻

卒業研究発表会を行いました

2月2日(水)、3日(木)に、工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 4年生による卒業研究発表会がX(クロス)棟で行われ、論文や設計の作品について、それぞれの専攻の学生が創意工夫して取り組んだ成果を発表しました。発表した学生は、先生からの質問にも的確に答え、4年間学んできた成果を披露していました。

3月3日(木)～6日(日)は、ナディアパークでも卒業設計作品のうち選抜された作品が展示されました。



▲卒業設計作品の展示の様子

建築学科 土木・環境専攻

2/17(木)、18(金)に授業成果展示会を開催しました

2月17日(木)、18日(金)に工学部 建築学科 土木・環境専攻による2021年度後期授業成果展示会を開催しました。ランドスケープ設計(2年)、CAD演習2(2年)、都市開発プラン実習(3年)の授業で作成したものが展示されました。

都市開発プラン実習では岐阜県可児市の名鉄広見線新可児駅西側地区を題材とし、飲食店や商業施設などを設置するなど、学生1人ひとりが考えたコンセプトに基づいたプランが設計されました。



▲授業で制作した作品



武藤隆教授

(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

日本建築学会 建築文化週間2021 「学生ワークショップ」にて 審査員を務めました



2021年10月23日(土)、24日(日)に、日本建築学会 建築文化週間2021の「学生ワークショップ」が開催され、工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 武藤隆教授が審査員を務めました。建築文化週間とは、日本建築学会が建築に対する認識向上と理解の深化を目的に、広く社会に向けてさまざまな事業を展開して

おり、その一環として毎年10月に「建築文化週間」を開催しています。

今回のワークショップは、「君とRe:design ~家具から都市までの再編~」をテーマとし、武藤教授は五十嵐淳さん、長崎由紀子さんとともに、ゲスト審査員を務めました。このワークショップは、以前の日常生活と感染症のリスク軽減を優先した生活の乖離が引き起こす問題を、2日間のオンラインイベントを通して、都市、住空間、インテリアなどの多様なスケールを横断した議論を行うもので、ワークショップや講評は、すべてリモート・オンラインで行われました。

「日本建築学会 建築文化週間2021
学生ワークショップ」のHPはこちら

<https://archigakuseiws2021.wixsite.com/website>



渡邊慎一教授

(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

NHK BS1 「Japanology Plus」に 出演しました

1月18日(火)に、午前4時30分～4時58分の時間で放送されたNHK BS1「Japanology Plus」に工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 渡邊慎一教授が「こたつ」のテーマで出演しました。

この番組はピーターバラカンさんが司会する海外向けの番組で、日本語でのやり取りは全て英語吹き替えの、日本の魅力を世界に紹介する番組です。

放送後は以下のサイトで視聴できます

Japanology Plus - TV |

NHK WORLD - JAPAN Live & Programs



光田恵教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

「天然ゴムの臭気を分析及び 評価する方法」が 特許登録されました

工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 光田恵教授が、2018年1月25日(木)に出願した「天然ゴムの臭気を分析及び評価する方法」がこのたび、2021年11月18日(木)に特許登録(特許第6979891号)されました。

- 1.特許番号:特許第6979891号
- 2.登録日:2021年11月18日(出願日:2018年1月25日)
- 3.特許タイトル:天然ゴムの臭気を分析及び評価する方法
- 4.特許概要:
天然ゴムの臭気を分析及び評価する方法を考案しました
- 5.発明者:光田恵 他

新刊
紹介

「トコトンやさしい消臭・脱臭の本」

光田恵教授、棚村壽三准教授、岩橋尊嗣非常勤講師、一ノ瀬昇客員教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 光田恵教授、棚村壽三准教授、岩橋尊嗣非常勤講師、一ノ瀬昇客員教授が執筆した書籍「トコトンやさしい消臭・脱臭の本」が日刊工業新聞社より発刊されました。

本書では、私たちを取り巻く生活環境の「におい・かおり」に着目し、人の感じ方やおい・かおりの特性を解説し、生活の中の身近なおいを例に、そのにおいがなぜ発生するのか、におい

のもとは何なのかをわかりやすく解説するとともに、これまで著者が取り組んできた研究成果から言える各においの効果的な対策を紹介しています。

快適な生活環境を創造するために必要な消臭・脱臭などのにおい対策を中心に、「におい・かおり」についてさまざまな角度から豊富な図やイラストとともにトコトンやさしく解説しています。

日刊工業新聞社のHP:本の紹介ページはこちら

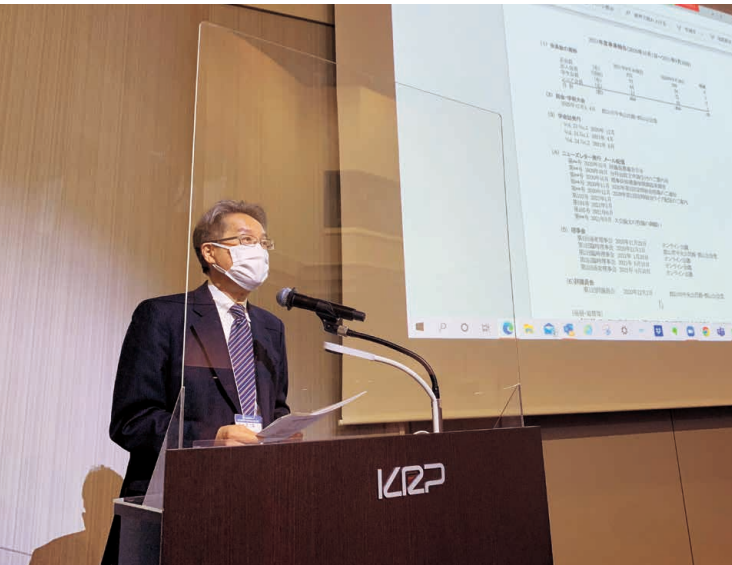
<https://pub.nikkan.co.jp/books/detail/00003616>



著者:光田恵(編著)、岩橋尊嗣、一ノ瀬昇、棚村壽三(著)
出版社:日刊工業新聞社 発行日:2021年11月30日
ページ数:160ページ ISBN:978-4-526-08172-9
定価:1,650円(税込)

山口一特任教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

2021年室内環境学会学術大会で活動報告等の説明を行いました



▲説明を行う山口特任教授

2021年12月2日(木)、3日(金)に、一般社団法人 室内環境学会が2021年室内環境学会学術大会を開催しました。学会の理事長である工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 山口一特任教授が2021年度の活動報告と来年度の活動計画と予算などについて説明を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、会場とオンラインのハイブリット型で開催されました。

環境評価(予測・モデル)、環境調査・暴露評価、健康調査・疫学、生体影響・リスク評価、快適性・知的生産性、政策・指針・管理、発生源、汚染制御、分析・計測・評価方法などの演題数130題、出席者300名以上参加の盛況な大会となりました。

また、「地球温暖化対策と室内観葉イノベーション」と題するシンポジウムの開催やコロナウイルス対策の演題も多く発表されました。

学会の詳細はこちら

<https://confit.atlas.jp/guide/event/siej2021/top>



桐山岳寛講師(情報デザイン学科)

学内報「DAIDO CAMPUS」のタイトルロゴが米国のデザイン賞を受賞しました

本学の学内報「DAIDO CAMPUS」のタイトルロゴを情報学部 情報デザイン学科 桐山岳寛講師がデザインし、米国GDUSAが主催するグラフィックデザインコンペティションにて、「American Graphic Design Award」を受賞しました。作品は同団体が発行する年鑑に掲載され全米に配布されることになっています。

GDUSAのHPはこちら

<https://gdusa.com/2021-graphic-design-awards-winner?rns=0|439>



桐山岳寛講師(情報デザイン学科)

JICA海外協力隊派遣前訓練の講師を務めました

独立行政法人国際協力機構が派遣する「JICA海外協力隊」の派遣前訓練の一環として、公益社団法人青年海外協力協会が主催する講義「情報伝達の基本～デザインの視点で情報伝達を考える～」で情報学部 情報デザイン学科 桐山岳寛講師が講師を務めました。

世界各地の発展途上国に派遣される協力隊員の任地での円滑なコミュニケーションを促すことを目的に、オンライン形式で実施されました。研究分野である「デザイン」を応用した図解表現をテーマに、情報伝達の質向上のための考え方や手法を紹介しました。

横山弥生教授(情報デザイン学科)

デジタル作品が入選、入賞し海外で展示されました

情報学部 情報デザイン学科 横山弥生教授のデジタル作品が海外の展覧会に入選し、フランスとスペインで展示されました。パリで毎年開催される有数の展覧会である「サロン・ドトヌ展」と「ル・サロン展」。サロン・ドトヌ展は、前衛傾向のコンテンポラリーアートの中核的存在で120年近く継続され、パリシャンゼリゼ特設会場で開催されました。ル・サロン展は具象傾向が強く、350年続く世界最古の歴史と伝統を持つ展覧会で、展覧会会場はグラン・パレ・エフェメール(2024年のパリオリンピック/パラリンピックに向け建設された会場)で2月に開催されました。この両方の展覧会に横山教授の作品が入選を果たしました。この2つの展覧会の両方に入選することは稀で大変名誉なことです。

また、スペインコミージャスで開催された「スペイン美術賞展2021」にも入選し、作品2点がコミージャス教皇庁立大学に展示されました。さらに、今夏東京の国立新美術館で開催された「日本・フランス現代美術世界展」では「パリ国際サロン賞」を受賞しました。



▲(左・中)サロン・ドトヌ展示会場の様子・入選作品
(右)ル・サロン展入選作品

大東憲二教授(総合情報学科 経営情報コース)

GREEN AGE2021 11月号に記事が掲載されました

一般財団法人日本緑化センターが発刊する「GREEN AGE2021 11月号」に情報学部 総合情報学科 経営情報コース 大東憲二教授の記事が掲載されました。

「工場緑地のもたらす多様な恩恵を考える」の特集ページに掲載され、知多半島生態系ネットワーク協議会会長でもある大東教授は、「知多半島グリーンベルトにおける生態系ネットワークの構築」をテーマとし、生態系ネットワークについて述べました。

澤岡昭名誉学長

第5期ものづくり塾が終了しました

2021年7月にスタートした、澤岡昭名誉学長が塾長を務めた第5期ものづくり塾「新素材の勘どころ」が11月30日(火)に終了しました。登録者は62名、参加者の多くは企業の中堅技術者



▲テキストの表紙

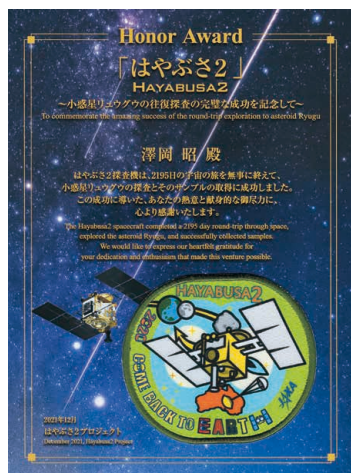
でしたが、今期は本学 機械工学科 4年生及び大学院生 8名が参加しました。送付したテキストについて4回の宿題がメールで配信、添削され、5回の特別講義を行い、講師の元トヨタ自動車(株)部長 神谷純生さんが、近未来の自動車産業について熱く語りました。今年度はすべてZoomとメールを併用したりリモートで実施しました。

澤岡昭名誉学長

はやぶさ2プロジェクトより Honor Award が授与されました

2021年12月に、澤岡昭名誉学長へ「はやぶさ2プロジェクト」よりHonor Award が授与されました。

はやぶさ2に爆薬を使った発射器の搭載を巡って、可否が議論された時期がありました。10年前、当時の澤岡学長は岐阜県神岡の山頂付近で行われた実物大試験に立ち会い、機器の性能評価を行った功績に授与されたものです。



澤岡昭名誉学長

南生涯学習センターとの連携講座 「宇宙開発最新情報Ⅱ」を 講演しました

名古屋市生涯学習：南生涯学習センターとの全4回の『宇宙開発最新情報Ⅱ』をテーマとした連携講座が2021年10月28日(木)に始まり、澤岡昭名誉学長が講演しました。



▲地球に鉱物回収カプセルを届けて、次の目的地に旅立ったはやぶさ2 ©池下章裕

第1回は『リュウグウの玉手箱を届け、旅立ったはやぶさ2』と題して、小惑星イトカワの鉱物を持ち帰った「初代はやぶさ」と小惑星リュウグウの鉱物を持ち帰った「はやぶさ2」の成功、そして、「はやぶさ2」の今なお続く挑戦について、関わった技術者達のチーム力を踏まえながら、わかりやすく話が展開されました。

連携講座は昨年度も開催されており、今回も参加者が多数のため、抽選が行われました。

連携講座

- 第1回(10月28日)
『リュウグウの玉手箱を届け、旅立ったはやぶさ2』
- 第2回(11月4日)
『激化する民間の宇宙船開発競争』
- 第3回(11月11日)
『星出飛行士が船長を務める国際宇宙ステーション』
- 第4回(11月18日)
『202X年、日本人飛行士の月面着陸』

澤岡昭名誉学長

『「いのち」のルーツを宇宙に 求めてⅡ』と題して講演しました

2021年12月15日(水)に、イーブルなごやで開催され、名古屋市教育委員会と大同大学が共催した、名古屋市民大学講座で澤岡昭名誉学長が講演しました。

「いのち」のルーツの鍵となるアミノ酸の痕跡を宇宙の鉱物に求める日本の取り組みとして、「はやぶさ2」による小惑星リュウグウの鉱物回収までの軌跡を宇宙開発の秘話を織り交ぜ紹介しつつ、後半では、深海にルーツを求める取り組み(「しんかい6500」による熱水噴出孔の探査)についても触れました。広大な宇宙を考えると、生命物質はもちろん生き物がいてもおかしくはない、わくわくできる分野だという言葉で講演はしめくられました。参加者の好奇心をくすぐる会となったようで、講演終了後も参加者からの質問が多く寄せられていました。

「いのち」のルーツを 宇宙に求めてⅡ

宇宙から無数の有機物を持ち帰ることができれば世界初
—はやぶさ2—
生命体の誕生を導くために
—JAMSTEC(海洋研究開発機構)の挑戦—
大同大学名誉学長
JIS研究員
澤岡 昭



▲講演会の様子

君山博之教授(情報システム学科)

次世代移動体通信 (Beyond 5G)に向けた 新規研究提案が採択されました

国立研究開発法人 情報通信研究機構による「Beyond 5G 研究開発促進事業」に係る令和3年度新規委託研究公募に対して、情報学部 情報システム学科 君山博之教授は、神奈川工科大学、琉球大学、ミハル通信株式会社と共同で、「高臨場感通信環境実現のための広帯域・低遅延リアルタイム配信処理プラットフォームの研究開発」を提案し、その提案がBeyond 5G シーズ創出型プログラムの1研究開発テーマとして採択されました。

この研究開発テーマでは、次世代移動体通信(Beyond 5G)網に向けたサービスの1つとして、ネットワーク品質に応じてダイナミックにかつ低遅延で映像クオリティを変化させつつ配信できるシステムのための基盤技術を研究し、様々な人が手軽に利用可能な4Kや8Kなどの高精細映像を使った通信環境を提供できるようにするための技術を確立します。今後の君山教授の研究成果に、ご期待下さい。

※「Beyond 5G研究開発促進事業 Beyond 5Gシーズ創出型プログラム」とは、Beyond 5Gの技術シーズの創出、要素技術の確立を目指し、斬新なアイデアやチャレンジ性を有する研究、萌芽的な研究をはじめとして、若手研究者やスタートアップ、中小企業等による研究も含め、幅広い多様な研究開発を推進するため、開発技術や開発目標について外部の自由な発想に委ね、研究開発提案を広く公募するものです。

国立研究開発法人

情報通信研究機構のHPはこちら

<https://www.nict.go.jp/press/2021/06/30-1.html>

萩野将広講師(機械工学科)

名古屋市立工業高校で 出張授業を行いました

1月20日(木)に、名古屋市立工業高等学校で機械科1年生40人を対象に、工学部 機械工学科 萩野将広講師が「機械工作法の歴史と情報化」をテーマに出張授業を行いました。

授業内容は、モノづくりに欠かせない機械加工について、歴史から最新技術まで、実例を交えて紹介しました。授業の中で生徒からの質問があり、「大学で学ぶことへの興味関心を持つことができ大変有意義な時間になった。」と感想を述べました。



▲出張授業の様子

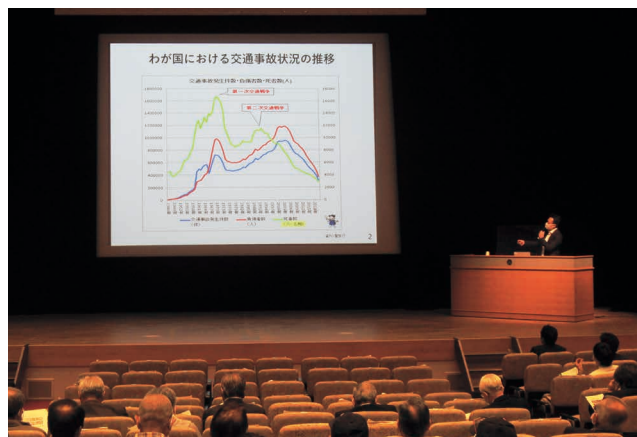
嶋田喜昭教授(建築学科 土木・環境専攻)

「令和3年度 土地区画整理地区 研究会」で講演を行いました

2021年11月2日(火)に、愛三文化会館(大府市勤労文化会館)もちのきホールで、愛知県土地区画整理組合連合会主催の「令和3年度 土地区画整理研究会」が開催されました。

研究会では、講演会や事例発表が行われ、工学部 建築学科 土木・環境専攻 嶋田喜昭教授が「道路網計画と生活道路の抜け道交通対策について」と題して講演を行いました。

愛知県土地区画整理組合連合会のHPはこちら
<https://www.aichi-kukaku.jp/>



▲研究会の様子

中島貴光教授

(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

「世界劇場会議名古屋フォーラム 2021」の実行委員長を務めました

2021年12月10日(金)に、世界劇場会議名古屋主催のフォーラムが、実会場とオンラインのハイブリッド形式により開催され、工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 中島貴光教授が実行委員長を務めました。



▲実行委員長を務めた中島教授

このフォーラムは「公共劇場のゆくえ」と題し、最新の劇場建築の事例を学び、これからの公共劇場のあり方について議論を深めることをテーマとしています。講師として香山建築研究所・代表取締役所長の長谷川祥久さんと(株)久米設計・設計本部建築設計部副部長の兒玉謙一郎さんが参加し、劇場建築の最新事例を紹介しました。

また、後半からはコメンテーターとして名古屋大学名誉教授・岡崎市民会館芸術監督の清水裕之さんが参加し、これからの公共劇場について様々な視点から議論を行い、盛況のうちに幕を閉じました。

山田靖教授(電気電子工学科)

専門図書「次世代パワー半導体の開発・評価と実用化」の一部を執筆をしました

工学部 電気電子工学科 山田靖教授が、エヌ・ティー・エスの専門図書「次世代パワー半導体の開発・評価と実用化」の執筆をしました。

山田教授が執筆したのは、第2編第3章第1節の「パワー半導体における実装用接合材料の特性評価法」です。

パワー半導体の実装において、接合材料に求められる特性、接合材料の動向、および接合部の特性評価法について解説しました。



橋口宏衛講師(機械システム工学科)

『Interface』4月号に記事が掲載されました

『Interface』4月号に工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師の記事が掲載されました。4月号は4月1日に発刊され、「GPSや画像処理で挑戦!ドローン自律飛行」をテーマとし、第2部で「自律飛行」について執筆されました。

『Interface』の公式ページはこちら
<https://interface.cqpub.co.jp/>



大東憲二教授(総合情報学科 経営情報コース)

「生物多様性とSDGs多世代フォーラム」でファシリテーターを務めました



3月6日(日)に、愛知県が主催する実会場とオンラインのハイブリット形式で開催された、「生物多様性とSDGs多世代フォーラム」で、知多半島生態系ネットワーク協議会会長でもある、情報学部 総合情報学科 経営情報コース 大東憲二教授がパネルディスカッションのファシリテーターを務めました。

当日は、基調講演の後、愛知県の各団体からの取り組み発表やユースからの報告があり、最後はパネルディスカッションで幕を閉じました。経済・社会を支える生物多様性について、愛知県の様々な取り組みについて発表等を通じて共有し、SDGsの視点を踏まえて活発な意見が展開されました。

パネルディスカッションには「命をつなぐPROJECT」学生実行委員会委員長の工学部 建築学科 土木・環境専攻 3年 丸井聡士さんが、パネリストの一人として参加しました。

第45回 人間-生活環境系シンポジウムが本学で開催されました

2021年12月4日(土)、5日(日)に、人間-生活環境系学会が主催する、第45回 人間-生活環境系シンポジウムが本学で開催されました。この人間-生活環境系シンポジウムは工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 光田恵教授が大会長を務め、建築専攻/インテリアデザイン専攻 渡邊慎一教授、かおりデザイン専攻 棚村壽三准教授が実行委員を務めました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、現地とオンラインの併用開催で実施しました。現地会場は、本学X(クロス)棟を使用し、現地参加の方とオンライン参加の方の議論や交流を円滑に行えるようリハーサルを重ね、無事開催されました。

プログラムはこちら

http://jhes-jp.com/blog/wp/wp-content/uploads/2021/12/HES45_program_rev.pdf

人間-生活環境系学会のHPはこちら

https://jhes-jp.com/blog/2021/11/09/hes45_part3/



男子ハンドボール部

東海地区強化トレーニングマッチで優勝!

2021年10月24日(日)に、中部大学で開催された、東海地区強化トレーニングマッチにおいて、本学の男子ハンドボール部が優勝しました。このトレーニングマッチは、日頃試合に出場する機会の少ない選手達の強化のために開催されたものです。東海地区の強豪4大学に、社会人2チームを加えた計6チームにより順位を争う形式となりました。

本学の選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、見事に全勝優勝を果たしました!男子ハンドボール部は、この勢いでチームの団結力を高め、11月6日(土)からの全日本学生選手権に臨みました。



▲優勝を果たした男子ハンドボール部

卓球部

第53回東海学生卓球各部別大会で好成績を収めました

2021年11月23日(火・祝)に、開催された第53回東海学生卓球各部別大会で卓球部が好成績を収めました。

結果は下記の通りです。

◆男子3、4部 シングルス 優勝

工学部 機械工学科 3年 山本倫也さん

◆男子3、4部 ダブルス 3位

工学部 機械工学科 3年 山本倫也さん、
 同学部 機械システム工学科 3年 逢坂知暉さん

◆男子3、4部 ダブルス 3位

工学部 機械工学科 1年 森下稜也さん、
 同学部 機械システム工学科 1年 太田琢磨さん

卓球部

2021年度東海学生卓球
秋季リーグ戦4部リーグで優勝しました

2021年11月26日(金)～28日(日)に、2021年度東海学生卓球秋季リーグ戦が開催され、第4部リーグで優勝し、3部昇格を決めました。

今大会の結果は下記の通りです。

◆男子第4部 優勝(5勝0敗)

団体メンバー

工学部 機械システム工学科 4年	豊田将也さん
同学部 機械工学科 3年	山本倫也さん
同学部 機械システム工学科 3年	逢坂知輝さん
情報学部 総合情報学科 3年	中村蓮さん
工学部 機械システム工学科 2年	山本佳祐さん
同学部 機械工学科 1年	伊藤義将さん
同学部 機械システム工学科 1年	太田琢磨さん

知多半島生態系ネットワーク
フォーラム「知多半島ミライ
Action Day」を開催しました

2021年12月24日(金)に、「知多半島生態系ネットワークフォーラム 知多半島ミライAction Day」を本学で開催しました。今回も新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、リアル会場参加を抑えつつ、リモートでの配信も行いました。

メインテーマとして世界のSDGsと生物多様性の先進事例を取り上げ、知多半島での取り組みをSDGsの視点で考え、若者



▲挨拶する武藤理事長

団体の紹介や学生による提言などが行われました。

映像を中心とした分かりやすい内容で、生物多様性と地域の未来を学べる活動として役立てることができました。

大竹俊輔さん、八田忠さん

「私の改善」で表彰されました

入試・広報室 大竹俊輔さんと八田忠さんが「私の改善」において表彰されました。「私の改善」は事務職員が日常業務の中で発明考案・業務改善に取り組み、その業績が顕著であると認められた提案が表彰されるものです。提案・表彰は以下の通りです。おめでとうございます。

優秀賞

大竹俊輔さん(入試・広報室)

脱Accessとペーパーレスを目指した総合型選抜エントリーと指定校推薦候補者連絡のWeb化

八田忠さん(入試・広報室)

大同大学奨励賞
表彰式を行いました

2月3日(木)に、X棟2階で大同大学奨励賞 表彰式が行われました。奨励賞は研究活動において、顕著な業績をおさめた人が対象となります。今回は、工学部 建築学科 建築専攻 4年 岡本直輝さん、中井由季



▲授与式の様子
(前列左から2番目が岡本さん、3番目が中井さん)

さんの2名に奨励賞が贈られました。岡本さんは「第45回 人間-生活環境系シンポジウム」にて大会発表賞を受賞したことにより、今回の受賞に至りました。

このシンポジウムは人間-生活環境系学会の年次大会であり、全国から大学教員、大学院生および学部生、さらに企業の研究者が参集しました。岡本さんは「日傘生地の色および加工の違いによる暑熱緩和効果の比較」というテーマで研究内容と共に、堂々としたプレゼンテーションと行いました。例年、学生の研究発表はほとんどが大学院生によるものであり、学部生による発表はごく少数です。その中で、優れた研究発表として大会発表賞を受賞したことは極めて稀です。中井さんは「第37回JIA東海支部設計競技」にて銅賞を受賞したことにより、今回の受賞に至りました。

この設計競技は公益社団法人日本建築家協会東海支部が主催する今回で37回目を迎える伝統ある事業の一つです。今回の課題は「血のつながらない家族の家」であり、家と家族、法律や制度、血縁と他人との関係性や距離などに思いを馳せ、その「血のつながらない家族」のための住宅の在り方が問われました。全国の建築系大学・大学院から多数の応募があった中、学部生個人で入賞をしたのは中井さんのみとなりました。この3月で卒業を迎えた岡本さんと中井さんは、「社会に出てこの経験を活かしたい」と前向きに語りました。

関連記事はこちら

**第45回 人間-生活環境系シンポジウムで
大会発表賞を受賞しました/**

建築学科 建築専攻 岡本 直輝さん

https://www.daido-news.jp/daido_news/notice/45.html

第37回「JIA東海支部設計競技」で入賞しました/

建築学科 建築専攻 中井由季さん

https://www.daido-news.jp/daido_news/notice/37jia-1.html



▲左から高村常務理事、大竹さん、八田さん

大学祭 宴祭 “好転”

2021年11月21日(日)に大学祭実行委員会主催の「宴祭」が開催されました。今年の宴祭のテーマは「好転」です。

新型コロナウイルスの影響により2019年5月からおよそ2年半ぶりとなる大学祭は、これまで発表の機会が作れなかった団体に発表の場を与え、同時に、大学祭を経験したことのない1年生の実行委員が経験を積み、来年度に向けて状況が良くなるようにとの思いが込められています。

当日は100名程度の観客が吹奏楽団、和太鼓研究会、ストリートダンス同好会、音楽研究部などのパフォーマンスを見て、楽しんでいました。それぞれの団体の間にはミニゲームを実施、最後にビンゴ大会を行い幕を閉じました。

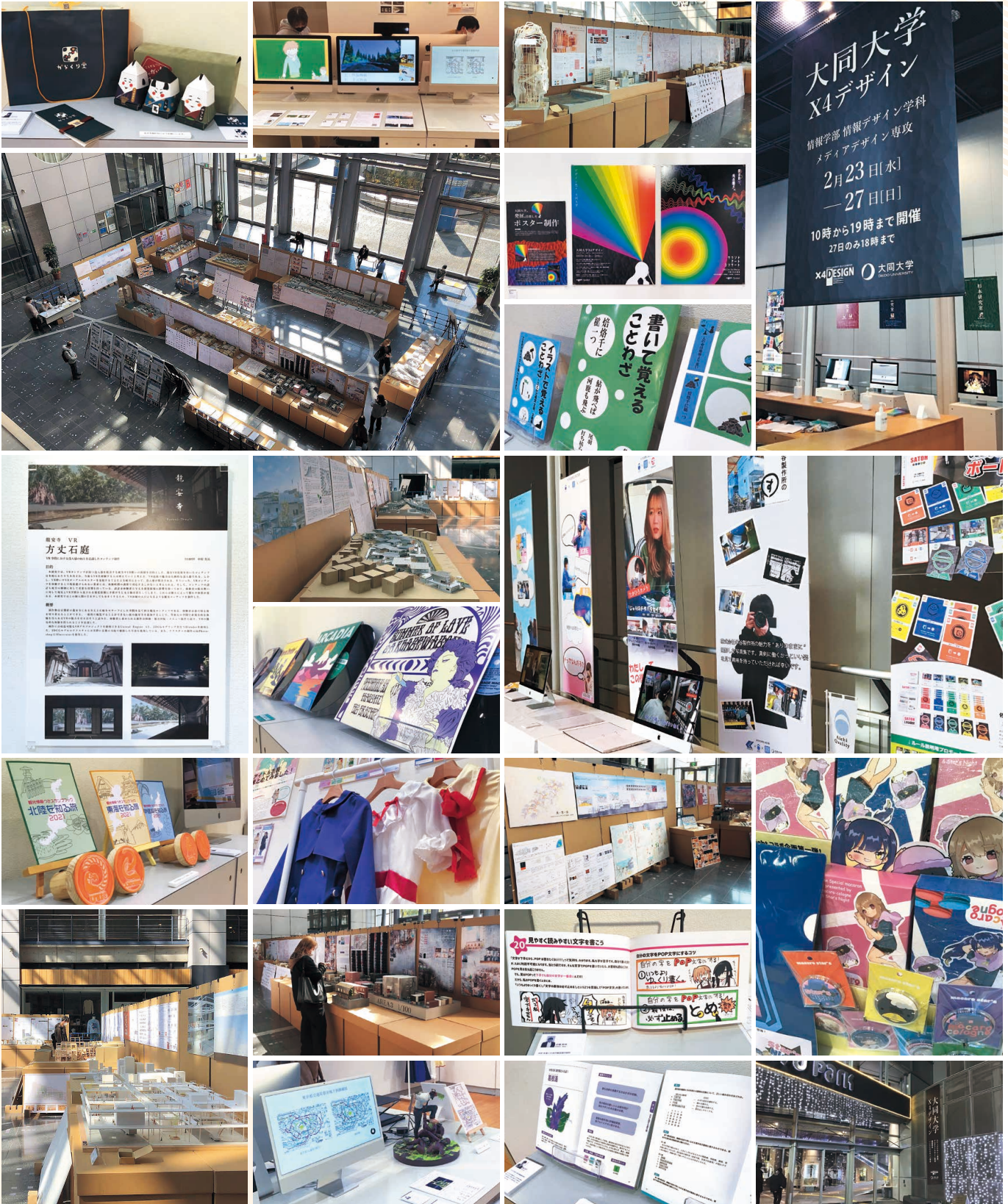
2022年度の大学祭は9月中旬ごろを予定しています。ぜひご期待ください。





X4デザイン専攻リレー展示会 vol.10を開催しました

「X4デザイン専攻リレー展示」とは、本学の建築学科 建築専攻/
インテリアデザイン専攻、情報デザイン学科 メディアデザイン専攻/
プロダクトデザイン専攻の4つの専攻からなるリレー展示です。卒業
制作作品から選抜された学生作品や、リレー展示のために学生たち
が4年間の集大成として取り組んだ作品が各所で展示されました。



2021年度 学位記授与式を挙行了しました



告 辞

学部卒業のみなさん、卒業おめでとうございます。大学院修士課程修了のみなさん、修了おめでとうございます。博士課程修了の近藤早紀さん、博士号取得おめでとうございます。卒業の喜びは、みなさんの努力の賜物であるだけでなく、御家族の皆様はじめ、周囲の方々のあたたかい支援があってこそであり、ご出席はいただけませんでしたが、関係の皆様へ、心からのお祝いを申し上げます。一昨年から新型コロナウイルス感染症は2年経っても収束を見ることができませんでした。しかし、本年はウイズコロナのなかで大学全体として学位記授与式を行う事ができ大変喜んでおります。

大同大学はみなさん新卒業生を加えて、32,450名の卒業生を送り出したこととなります。今までの卒業生は、中部を中心に全国各地で活躍しています。皆さんも「大同大学の卒業生」として、これから社会や大学院で活躍することを期待しております。

本学は、五十八年前、第2次世界大戦後の復興期に大同製鋼、中部電力、名鉄など中部産業界の要請を受け、機械工学科と電気工学科、二学科の大同工業大学として大同学園により設立されました。その後、建設工学科を加え、二十年前には情報学部が設置され、さらに大同工業大学から大同大学へと校名を変えました。しかし、「産業と社会の要請に応える人材の養成」という建学の精神は五十年以上に亘って受け継がれ、「実学主義」という大学の理念は変わりません。大同大学は、大同学園の八十年を超える歴史に裏付けられた実学の大学であり、そこで学んだということを忘れないで下さい。

卒業は新たな門出です。特に大学、大学院を卒業して社会に出て行く皆さんは、今までとは違った環境の社会の荒波への出発点となります。しかし、皆さんの最近の2年間はこれまでと違い、コロナ禍による遠隔授業を経験し、学生生活や就職活動も十分に行えず大変残念

であったと思います。ただ、社会の大きな変革を身をもって体験したことは必ずしもマイナスではなく、これからの皆さんの人生の糧となると信じています。

さらに、学びは一生続きます。卒業すれば勉強は終わりではなく、大学で学び、蓄積した知識を実際に役立たせるために、何度も見直し、自分にとって実りのあるものにして下さい。分からないことがあれば、これからも、大同大学の先生がたに助言を求めて下さい。

近年、地球温暖化、民族や宗教の対立による緊張など地球規模の課題がいくつも顕在化し、日本にも影響を与えています。特に、近年のコロナ禍で、大学では遠隔授業が、社会ではテレワーク勤務が一気に浸透しました。情報化社会の進展が予想を遥かに超えて進みました。AI、ロボット、IoTなどが飛躍的に進化したSociety 5.0と言われる超スマート社会が到来し、社会は劇的に変化しようとしています。しかし、人間は、AIと違い経験に裏付けられた「ひらめき」を発揮することができます。17世紀のフランスの哲学者パスカルの有名な言葉に「人間は考える葦である」があります。これは、人間の偉大さを表した言葉です。インターネット社会に翻弄されずに、人間の偉大さを忘れないで欲しいと思います。さらに、最近、ロシアによるウクライナ侵攻のように、これから予測できない状況が増加していくと思われれます。そのような時に、冷静に判断を行い行動できる人間になって下さい。

みなさんの人生はこれからです。自分の満足できる人生を送って下さい。そして、ふと立ち止まり迷うとき、大同大学を思い出し、相談に来て下さい。大同大学は、いつまでも皆さんとともにあります。

健康に気をつけ、家族や友人を大切に、充実した人生を送られることを心から願って告辞といたします。

令和四年三月十八日

大同大学長 神保 睦子



2021年度 学位記授与式 学長賞表彰

学長賞(学業)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械工学科	安藤 大貴	西脇 武志
機械工学科	富澤 天志	徳納 一成
機械システム工学科	金子 聡真	尾形 和哉
機械システム工学科	神戸 駿斗	橋口 宏衛
電気電子工学科	今井 啓斗	加納 善明
電気電子工学科	寺本 頼弥	植田 俊明
建築専攻	羽根 凜花	武藤 隆
インテリアデザイン専攻	川合 優奈	船橋 仁奈
土木・環境専攻	田中 悠希	鷺見 哲也
かおりデザイン専攻	棚橋 唯	光田 恵
コンピューターサイエンス専攻	中野 駿	朝倉 宏一
情報ネットワーク専攻	大洞 真希	喜田 健司
メディアデザイン専攻	中村 光汰	横山 弥生
プロダクトデザイン専攻	宮崎 佑奏	舟橋 慶祐

学長賞(課外活動)

所属	氏名	顧問等
ロボット研究部	滝川 晃生	大嶋 和彦
男子ハンドボール部	池田 大智	佐藤 壮一郎
男子ハンドボール部	高橋 民斗	佐藤 壮一郎
男子ハンドボール部	田代 健流	佐藤 壮一郎

学長賞(研究活動)

学科・専攻	氏名	指導教員
建築専攻	岡本 直輝	渡邊 慎一
建築専攻	中井 由季	船橋 仁奈
プロダクトデザイン専攻	今関 香姫	岡田 心

学長賞(大学院)

専攻	氏名	指導教員
材料・環境工学	近藤 早紀	光田 恵
機械工学専攻	丹羽 大樹	前田 安郭
機械工学専攻	村松 雅仁	尾形 和哉
電気・電子工学専攻	宮ノ腰 康介	川福 基裕
都市環境デザイン専攻	広瀬 陽介	樋口 恵一
情報学専攻	沖村 達也	不破 勝彦

学会賞(学部)

学会・賞名	氏名	指導教員
日本機械学会 島山賞	上田 悠悟	杉谷 啓
	中川 かざね	吉田 昌史
	西館 光紀	徳納 一成
日本設計工学会 武藤賞	山田 脩輝	大嶋 和彦
	神谷 隆太	萩野 将広

学会賞(大学院)

学会・賞名	氏名	指導教員
日本機械学会 三浦賞	土田 真之介	徳納 一成
	林 秀行	大嶋 和彦
日本設計工学会 武藤賞	丹羽 大樹	前田 安郭
日本鑄造工学会 研究奨励賞	桑 隆千穂	
日本鑄造工学会 研究奨励賞	丹羽 大樹	

人 事

●退任(2022.3.31)

服部 保孝 (大同大学大同高等学校 校長)

●就任(2022.4.1)

戸倉 隆 (大同大学大同高等学校 校長)

伊藤 佳貴 (大同大学大同高等学校 教頭)

●退職

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(2022.3.31)

徳納 一成 (工学部 機械工学科 教授)

堀内 将人 (工学部 建築学科 教授)

横手 裕治 (情報学部 情報システム学科 准教授)

山口 一 (工学部 建築学科 特任教員)

併任 情報学部 総合情報学科 特任教員)

高木 基充 (情報学部 情報デザイン学科 特任教員)

〈事務職員〉(2022.3.31)

鹿島 孝之 (法人本部 本部長付)

〈嘱託職員〉(2022.3.31)

小川 隆弘 (工学部 機械システム工学科)

斎藤 敏和 (工学部 電子電子工学科)

荒川 保美 (工学部 建築学科)

村山 季里子 (情報学部 情報デザイン学科)

浅野 愛 (情報学部 情報デザイン学科)

山田 敏彦 (創造製作センター)

飯山 博純 (創造製作センター)

横山 直明 (研究支援センター)

岡松 久朗 (法人本部 大学事務部 キャリア支援室)

山口 勉 (法人本部 大学事務部 研究・産学連携支援室)

●採用

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(任期:2022.4.1 ~ 2023.3.31)

徳納 一成 工学部 機械工学科 特任教員

堀尾 吉巳 工学部 電気電子工学科 特任教員

高木 康夫 工学部 電気電子工学科 特任教員

堀内 将人 工学部 建築学科 特任教員

久田 晴生 教養部 特任教員

〈嘱託職員〉(2022.4.1)

奥山 智美 情報学部 情報デザイン学科

柏木 結巳子 情報学部 情報デザイン学科

大見 尚子 法人本部 総務部 人事室

山本 英朗 法人本部 大学事務部 キャリア支援室

●昇任

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(2022.4.1)

町屋 修太郎 工学部 機械工学科 教授

中島 貴光 工学部 建築学科 教授

岡田 心 情報学部 情報デザイン学科 教授

小島 一宏 情報学部 情報デザイン学科 教授

小西 章典 教養部 教授

田中 宏昌 教養部 教授

〈事務職員〉(2022.4.1)

丹羽 信雄 法人本部 情報室 主任部員

(課長待遇)

西村 勇樹 法人本部 総務部 管財室 主任部員

(課長待遇)

●異動

【法人本部・大学】

〈教育職員〉(2022.4.1)

颯田 尚哉 工学部 建築学科 教授

光田 恵 工学部 建築学科 教授

棚村 壽三 工学部 建築学科 准教授

浅井 淳 情報学部 総合情報学科 准教授

併任 情報学部 情報デザイン学科 准教授

山田 雄太 教養部 教授

併任 情報学部 総合情報学科 教授

〈事務職員〉(2022.4.1)

齊藤 貴伸 法人本部 大学事務部

研究・社会連携推進室長

信濃 和彦 法人本部 大学事務部

研究・社会連携推進室 主任部員

木村 雅美 法人本部 総務部 総務室

●称号授与

【大学】

〈名誉教授〉(2022.4.1)

堀内 将人 (元工学部 建築学科 教授)



「DAIDO CAMPUS」の表紙を 情報デザイン学科 4年生の 嶋田菜帆さんがデザインしました

「春・変化・成長」をテーマに表紙のデザインを制作しました。小学校で使っていたランドセルから芽が出ている様子から小学生だった時の自分から現在までの成長を表現しました。ランドセルが「成長」という主なテーマとなっているのですが、大学の広報誌にふさわしい表紙絵にするために、個人的に大学に入学したと実感させられた学生証や入学式で着たスーツ、授業で使う本を背景に加えて絵の中の人物は大学生だと分かるようにしました。またランドセルだけでは一見見て春だと分からなかったため、桜の花びらを数枚散らしてみました。最初は案を出すことも難しかったですが、とても楽しかったです。今回の経験を将来の仕事などにも活かしていきたいと思えます。